みぶ町政だより

壬生史帖

羽生田八幡宮

後奈良天皇の御代に浮川何部頭時は東北地方に勢力を張って諸国を征服した。たまたま衣川を渡り終えようとしたとき、民衆を苦しめ朝廷の命や、租税の義務なども省った。近隣の徒は競出し、飢餓にひんする者が出たのでこれを救済するために八幡宮を建立して慰霊させた。羽生田、源頼家を鎮守府将軍として任命させ屋敷を構えたのである。近隣では小山の八幡宮、薬師寺、河内貴沼、田野村長塚、那須塩の宮原の八幡宮に神領五戸を寄った。（十寸）

統計より

人口
- ①　人口（男女生亡婚姻）　25,234人　12,264人　12,970人　56人　14人　29件
- ②　出死婚戸　4,309戸

（10月1日調べ）

三十議員の誕生

壬生町議会議員選挙

明るい町政に期待

町民関心の的であった町議会議員選挙の審判が下されました。十月四日午前七時より投票が始まり午後六時に締切り、午後八時より役場二階で開票が行われ、その結果、四十三名の候補者の中から三十名の当選者が決定しました。選挙管理委員会は十月六日各当選者に「当選証書」を附与しました。

九月二十日の選挙告示と同時に四十一名が候補の届出をすませ二十八日に一名、立候補辞退者一名と計四十三名が出そろって壬生選挙区七〇名、南犬飼選挙区一〇名、稲葉選挙区一三名の定員をめぐって激しい選挙戦を展開しました。

投票率は実に九〇・三四%の高率でした。

壬生選挙区

有権者　六、〇五四名
投票者　五、六八一名
投票率　九三・六六%

南犬飼選挙区

有権者　三、七〇五名
投票者　三、五二五名
投票率　九四・七〇%

稲葉選挙区

有権者　三、七〇五名
投票者　三、五二五名
投票率　九三・六六%

全町

有権者　一三、六三七名
投票者　一二、八五五名
投票率　九四・二七%

投票率は前回より〇・四三%上回るが成績でした。当選者次の通り

▽壬生（定員13人、立候補16人）

当五六〇票	上野　高明47	無現	
当四六八票	青木宇三郎55	無新	
当四三八票	松本徳太郎59	無現	
当四〇九票	玉田　一46	無現	
当四〇九票	斎藤　米吉57	無現	
当三七五票	若林　茂一46	無現	
当三六八票	黒川　徳治57	無現	
当三四〇票	星　佐一郎44	無現	
当三一五票	倉井　勇治55	無元	
当二九〇票	高橋源次郎50	無現	
当二八九票	飯塚　義彦57	無現	
次二八六票	保谷　弘	無現	
次二八六票	佐藤　吉男71	無現	
二七八票			
石島　徳重63			
二〇三票			
秋山　茂一61			
無元			

▽稲葉（定員8人、立候補13人）

当三三一票	三上　春信62	無現	
当三一五票	小倉金一郎60	無新	
当三〇〇票	中村　義雄55	無現	
当二九九票	川崎　良作49	無新	
当二八〇票	清水与之助57	無新	
当二七九票	早乙女　武49	無新	
当二七一票	大出幸一郎53	無新	
当二七〇票	篠原　利雄55	無現	
次二五九票	石江　正52	無新	
二三六票	尾崎直二郎57	無元	
二二三票	石川　昭三51	無元	
二一九票	吉岡　吉42	無現	
二一〇票	菊島　芳助57	無元	

▽南犬飼（定員9人、立候補14人）

当二八九票	鈴川　秀武61	無現	
当二八九票	鈴木　武雄46	無現	
当二八〇票	中村　重信53	無新	
当二七四票	山田　郎50	無新	
当二六一票	巽井　一52	無現	
当二五〇票	渡邊　儀一62	無新	
当二五〇票	大塚保武44	無新	
次二五〇票	中川　広64	無現	
二〇八票	高山　喜重57	社新	
二〇〇票	鈴木　武雄51	無新	

▽稲葉（定員8人、立候補13人）

当三三一票	三上　春信62	無現	
当三一五票	小倉金一郎60	無新	
当三〇〇票	中村　義雄55	無現	
当二九九票	川崎　良作49	無新	
当二八〇票	清水与之助57	無新	
当二七九票	早乙女　武49	無新	
当二七一票	大出幸一郎53	無新	
当二七〇票	篠原　利雄55	無現	
次二五九票	石江　正52	無新	
二三六票	尾崎直二郎57	無元	
二二三票	石川　昭三51	無元	
二一九票	吉岡　吉42	無現	
二一〇票	菊島　芳助57	無元	

▽南犬飼（定員9人、立候補14人）

当二八九票	鈴川　秀武61	無現	
当二八九票	鈴木　武雄46	無現	
当二八〇票	中村　重信53	無新	
当二七四票	山田　郎50	無新	
当二六一票	巽井　一52	無現	
当二五〇票	渡邊　儀一62	無新	
当二五〇票	大塚保武44	無新	
次二五〇票	中川　広64	無現	
二〇八票	高山　喜重57	社新	
二〇〇票	鈴木　武雄51	無新	

▽…写真説明…△

総列右より　中列　朝男
浜野　清氏　田辺事務局長　玉田　一氏
川崎　良作氏　斎藤　米吉氏　巽井　一氏
小倉金一郎氏　坂本　義雄氏　星　佐一郎氏
鈴川　秀武氏　中村　義雄氏　上野　高明氏
篠原　利雄氏　松本徳太郎氏　小出田　町長
青木宇三郎氏　田井　一氏　山田　郎氏
大出幸一郎氏　篠原　喜氏　清水与之助氏
早乙女　武氏　渡辺　儀一氏　倉井　勇治氏
黒川　徳治氏　保谷　弘氏　斎藤源次郎氏
若林　茂一氏　高木　助役　大塚　竹一氏

選挙雑感

▽…町議選の開票所は、町長舎の二階で行われ、投票箱が次々と開かれ、候補者の得票数が読み上げられるたびに、場内は緊張の連続でした。

▽…選挙が終って二日目ぐらいで、選挙用ビラが全部取り除かれて、美しい事務所に帰りました。これは事前に各候補者の責任者と、選管、議会が申し合せ事を守ったなので、今までにないすがすがしい出来事でした。

▽…開票参観人は一時頃までに一名のこして、真剣な面持ちで開票を見守っていました。

▽…開票が開始前に帰りがけに関心の深い人が、投票箱の裏側に回りこんで、じっと票の入るのを見つめていたが、中には無効票が十五、六枚も行なわれたりして驚く人もなく、午後十二時ごろより当落がはっきりしたので、三々五々と役場の門から外の闇へ消えました。

▽…今回の選挙は、一票差で落選したり、同票で抽選になったりして従来にない珍現象を呈しました。

議長に斎藤氏を

第七回臨時町議会

町議会議員の選挙後の初回会議は十月六日に召集されて議員定数九人全員が出席しました。

▽議長選挙の件

斉藤　米吉（57才）

▽副議長選挙の件

臼井　一巳（50才）

▽常任委員選挙の件

（◎印は委員長）

1、総務常任委員＝八名

◎鈴木武雄　◎倉井勇治　三上春信　上野高明　星佐一郎　若林茂一　斎藤米吉　玉田一

2、経済常任委員＝七名

一郎　中村義一　斎藤米吉　秀武　渡辺儀一　玉田一　篠原利雄　川崎良作

3、教育民生委員＝七名

◎松本徳太郎　○巽井重信　若林茂一　山田郎二　大出幸一郎　小倉金一郎

4、土木常任委員＝八名

◎高木宇三郎　○青木宇三郎　篠原源次郎　松本徳太郎　早乙女武　鈴川秀武　中村義雄　巽井重信

▽監査委員の選任について同意を求める件＝一名

若林茂一

常任委員会とは

地方自治体の事務、従ってその議会に提案される議案も非常に複雑に、また数多くなってきている現在、あらゆる議案をいきなり全議員で審議して完全な研究ができていても、なかなか十分とはいえない。能率も上らないし、強いて行ようとしても多くの時間を要するかもしれない。そこで地方自治法では、国会にならって議会に委員会の制度をおくことを定めた。

常任委員会と特別委員会がある

◎常任委員
各議員は、原則として、いずれかの常任委員となります。

◎特別委員
必要に応じ、特別委員会を設置することができます。

町議会の改選を終えて

壬生町長　小田垣健一郎

去る十月四日、町議会の改選が行われ、ここに新しい方々が選出されたことは壬生町のために慶びにたえません。

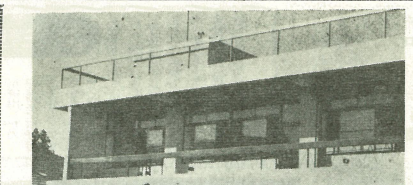
私は町長就任以来、議会の円満運営に努力して参りましたが、町の内外からいろいろと批判をうけましたが、

粗収入は増えているが(1)

栃木県農家経済調査

農作五年目ないといわれ、いやこれが平年作だなどと言う人もおりますこれから冬季間の収穫期に当り、私たち農家の経済というものを検討してみたいと思います。役場で取り扱っている仕事の中に〝農業経済調査〟というのがあります。栃木県全部で二八〇戸、宇都宮市では矢戸の農家が、記帳や計算に協力しております。先頃県より発表された資料〝本県農家経済調査の分析〟を参考にしていきたいと思います。

その調査から指摘される大きな特長は、二十年来の農業恐慌〟などといわれる昭和恐慌〟以来の〝一戸当り農業粗収入が増えるの普通です。産業界では〝神武景気〟と伸び生産も増加して繁栄が謳われておりますが、農家では生産もぐんぐん伸びているのに粗収入が減ったり横ばいだったりして投資に踏ん切りがつかないでいるのが現状です。



写真……九月末できあがつた、モダンな壬生中校舎

年度別	農業粗収入(一戸平均)単位円	対元年比 %
昭和六年	二三二、二四一	六八、九
〃　元	二六九、三七七	一〇〇、〇
〃　二	二七六、〇七七	一〇二、七
〃　三	二九三、八七三	一〇八、九
〃　四	三一五、六三一	一一七、二

(注)三年度を一〇〇とした場合

その原因については、野菜などの価格の低調等もありましょうが、統計上では、農業経費が年々増加していることもかわらず農業所得が横ばいを続けております。